

# 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野中学校

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

## 3. 調査の対象

中学校第3学年，全生徒  
実施生徒数（170人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 74.9 / 泉佐野市 70.8 / 大阪府 74.4 / 全国 75.8）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 64.7 / 泉佐野市 59.9 / 大阪府 64.8 / 全国 65.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことに課題がある。</p> <p>6一 「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表にあてはまる言葉として適切なものを選択する。(67.1/71.3)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○意見を支える根拠の明確さについて助言する。</p> <p>2一 意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する。(75.3/79.8)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特長に関する事項】</p> <p>○文脈に即して適切に漢字を書く。</p> <p>9一2 カタカナを漢字に直す。(地図の<u>シュクシャク</u>を調べる。)(66.5/72.1)</p> <p>9一3 カタカナを漢字に直す。(ア<u>マ</u>ったお金を貯金する。)(77.6/70.9)</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</p> <p>9三イ 適切な語句を選択する。(彼がこの討論の<u>口火</u>を切った)(59.4/55.5)</p> <p>9三エ 適切な語句を選択する。(彼女は、学級の<u>縁</u>の下の力持ちと言える存在だ)(57.6/70.8)</p> <p>9三オ 適切な語句を選択する。(た<u>な</u>びく雲の間から、春の光がもれている)(30.0/49.0)</p> <p>○単語の種別について理解する。</p> <p>9四① 「青い」の品詞を選択する。(70.0/62.3)</p> <p>9四② 「青さ」の品詞を選択する。(50.0/33.7)</p> <p>○手紙の書き方を理解して書く。</p> <p>9六 手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する。(42.9/58.2)</p>

国語 B	特徴がみられた設問
<p>○目的や状況に応じて資料等の掲示の仕方を工夫し、その意図や理由についてまとめ、根拠を持って説明することに課題がある。</p> <p>1三 演奏する<u>タイミング</u>を選択し、なぜそのタイミングに演奏をするのかを、本文を根拠にして書く。(45.0/56.2)</p>	

3. 学習状況調査より

(数字は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合を足したものです。)

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	61	60.5		0.5
国語の勉強は大切だと思いますか	86.6	89.9		3.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	62.3	74.3	○	12.0
読書は好きですか	65.7	67.9		2.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	78.5	84.2	◇	5.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	36.1	59.2	○	23.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	46.5	54.0	◇	7.5
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか	59.3	65.7	◇	6.4
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	65.2	70.6	◇	5.4
今回の国語の問題について解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	95.9	95.9		0
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	71.5	64.4	◇	7.1
学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	68.0	64.4		3.6

○「国語の勉強が好き」と解答した生徒は全国平均を上回っているが、「国語の授業の内容はよく分かる」と解答した生徒は全国平均を大きく下回った。

○国語の授業でのさまざまな活動については、どの項目も全国平均より5%以上下回っており、特に「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」については、全国平均をかなり大きく下回った。

○「書く」ことに苦手意識を感じている生徒が多く、感想文や説明文を書くことを難しいと感じている生徒は全国平均を5%以上、上回っている。

○「読書は好きですか」については、全国平均を下回ったものの、多くの生徒が「好き」と考えており、朝の読書のとりくみの成果が出てきていると思われる。

#### 【まとめ】

「国語の授業が好きで、大切だ」という生徒がたくさんおり、前向きに授業にとりくんでいるが、「話すこと（発表すること）」「書くこと」「読むこと」ができていると感じている生徒は全国平均より少なく、特に自分の考えや意見を表現することを難しいと感じている生徒が多い。今後も、自ら考え、表現していく指導を丁寧にしていく必要があると思われる。

平成 27 年度全国学力・学 lực学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」 平均正答率（本校 67.0 / 泉佐野市 59.4 / 大阪府 64.3 / 全国 64.4 ）

・数学Aは泉佐野市および大阪府、全国の平均正答率より上回っている。平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、中位層から上位層が全国に比べ多い。

「B区分問題」 平均正答率（本校 45.0 / 泉佐野市 36.5 / 大阪府 41.49 / 全国 41.6 ）

・数学Bは泉佐野市および大阪府、全国の平均正答率より上回っている。

平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、中位層から上位層が全国に比べ多い。

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p>【数と式】 ②（3）</p> <p>□等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる。(73.7/64.2)</p> <p>等式の性質を理解し、順序よく適切にできるように繰り返し指導してきた。</p> <p>特に順序が間違えると計算に時間がかかったりするので注意して指導が必要。</p> <p>【数と式】 ②（4）</p> <p>文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解しているかどうかをみる。全国平均を大きく上回っている。(70.2/57.0)</p> <p>最も小さい整数を<math>n</math>として「<math>n</math>, <math>n+1</math>, <math>n+2</math>」と表せることや「中央の3倍」は<math>3 \times (n+1)</math>と表せることなど、文字を用いて説明できることの構想を立てることができるように指導することが大切である。</p> <p>【数と式】 ④（2）</p> <p>平行移動した図形をかくことができるかどうかをみる。(63.7/54.5)</p> <p>図形の平行移動、対称移動、回転移動を視覚的に捉えられるように、活動する時間を多く取り入れることが重要である。移動の性質を用いて、一方を他方に重ねる方法を説明できるように指導することも考えられる。</p>	<p>【図形】 ⑦（3）</p> <p>作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解しているかどうかをみる。(57.9/48.1)</p> <p>平行四辺形になるための条件の理解に課題があり、指導の充実が求められる。</p> <p>実際に作図をしてみて、活動を通して条件を理解していると思う。それが正答率 57.9 につながった。</p> <p>【図形】 ⑩（1）</p> <p>反比例のグラフが<math>x</math>軸、<math>y</math>軸に限りなく近づく2つのなめらかな曲線であることを理解しているかどうかをみる。(73.7/61.7)</p> <p><math>x</math>の値を細かくとってグラフの通る点を調べる活動を通して、グラフがなめらかな曲線になることを確認するとともに、<math>x</math>の値を大きくしても<math>y</math>の値が0とならないことや、<math>x=0</math>のとき<math>y</math>の値は求められないことから、グラフは<math>x</math>軸、<math>y</math>軸のそれぞれに限りなく近づくが交わらないことを理解できるように作図の時間をとって理解できるように指導することが大切である。その結果全国平均と+12になったのである。</p> <p>などの既習の図形の性質を用いて説明できるように指導することが大切である。</p>

数学B	特徴がみられた設問	
<p>【数と式】② (2)</p> <p>事柄が成り立つ理由を、構想をたてて説明することができるかどうかをみる。(55.0/43.1)</p> <p>数字を文字に置き換え問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明させる機会を多くとる必要があるが、十分にとれないことが数字に表れたと思う。</p> <p>「<math>n</math>は整数であるから<math>(n+1)</math>は整数だから<math>3(n+1)</math>は<math>3 \times</math>整数で<math>3</math>の倍数になる」という表現になることを説明できるように指導することが大切である。</p> <p>【資料の活用】⑤ (2)</p> <p>資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる(32.2/23.3)</p> <p>正答率は、32.2%である。</p> <p>グラフの読み取り間違いが多く、無回答の生徒が多い。</p> <p>ヒストグラムや代表値を用いた資料の傾向を捉え説明する場面を設定し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるように指導することが大切で、問題をこなす必要性がある。</p>		

### 3. 学習状況調査より

(数字は、項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合を足したものです。)

質問項目	本校	全国	10% ○ 5% ◇	差
数学の勉強は好きですか	41.3	56.0	○	14.7
数学の勉強は大切だと思いますか	82.6	82.6		0
数学の授業の内容はよく分かりますか	61.7	71.6	◇	9.9
数学ができるようになりたいと思いますか	87.8	91.5		3.7
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	70.4	69.8		0.6
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	27.9	40.9	○	13.0
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	69.2	72.5		3.3
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	64.6	67.5		2.9

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	70.9	70.1		0.8
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	73.3	80.6	◇	7.3
今回の数学の問題について、解答や言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	93.6	93.5		0.1

- 「数学の勉強が好き」と回答している生徒の割合が、全国平均を大きく下回り14.7%低い。
- 「数学の勉強は大切だと思う」と思っている生徒の割合は全国平均と同じである。
- 「数学の内容はよくわかる」「数学ができるようになりたい」と思っている生徒の割合も全国平均を下回っている。
- 数学の学習が「普段の生活の中で利用できないか」と考えている生徒の割合が30%以下で、全国平均より大きく下回り、13%低い。
- 数学の授業で公式やきまりを習うとき、「その根拠を理解するようにしている」と回答した生徒は、全国平均を上回り、0.8%高い
- 数学の授業を受けているとき「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒は、全国平均より下回り、7.3%低い。
- 諦めずにいろいろな方法を考えたり、説明する問題では、最後まで解答を書こうと努力したりする生徒の割合が全国平均を少し上回った。

**【まとめ】**

数学の授業で公式や決まりの根拠を理解しようとしたり、諦めずにいろいろな問題解決方法を考えたり、数学の勉強を大切だと思う生徒が多い。多くの生徒が前向きに取り組んでいる。しかし、難しいと感じている生徒が多い。今後も引き続き、授業の受け方やノートの取り方等、丁寧な指導が必要である。

平成27年度全国学力・学力学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

「A区分問題」 平均正答率（本校53.8 / 泉佐野市48.2 / 大阪府50.8 / 全国 53.0）

・泉佐野市および大阪府、全国の平均正答率より上回っている。平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、中下位層が全国に比べ若干少ない。

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科A	特徴がみられた設問
<p>① (3) 水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に測れない理由を説明する。(64.3 / 53.0) 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の特性と捕集法を関係づけてとらえる学習をできたことが正答率につながっていると考えられる。</p> <p>② (2) 天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ(40.4 / 48.6) 天気の記号の知識をもとに風向を読み取る技能と、風向計を使って風向を観測する技能に課題があり、指導の充実が求められる。また、風向計の原理や仕組みを捉えて風向を観測する技能を身につける指導の充実が必要である。併せて、風向を観測する技能を身につける学習場面を設定することが指導のポイントと考えられる。完速k具の原理や仕組みの理解を図るとともに、気象観測緒を粉追うとする意欲を高めることが大切である。</p> <p>③ (1) 13時～16時の四つの気象観測の記録から、最も高い温度を選ぶ。(40.4 / 36.5) 露点を想定する場面において、気温による飽和水蒸気量の変化が、湿度の変化に関わりがあるという知識を活用する力が身につけてが正答率につながっていると考えられる。</p>	<p>④ (2) ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ。(57.9 / 50.5) 物体、凸レンズ、スクリーンを使って網膜の上に像を結ぶ仕組みについて、物体、レンズ、スクリーンの位置関係を理解していることが正答率につながっていると考えられる。</p> <p>⑧ (1) 背骨のある動物の名称を答える。(55.6 / 63.9) 背骨のある動物の名称を答えることに課題があり、身近な動物の特徴を比較して分類したり、関連付けたりして、基本的、基礎的な知識を身につけられるような指導の充実が求められる。背骨の有無を基準にして分類することは理解しているが、脊椎動物や無脊椎動物の名称についての知識を身につけていないと考えられる。</p>

### 3. 学習状況調査より

(数字は、項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合を足したものです。)

質問項目	本校	全国	10% ○ 5% ◇	差
理科の勉強が好きですか	55.3	61.9	◇	6.6
理科の勉強は大切だと思いますか	58.7	69.3	○	10.6
理科の授業の内容は良く分かりますか	58.2	66.8	◇	8.6
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことはありますか。	65.7	75.5	◇	9.8
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で、活用できないか考えますか	31.4	46.9	○	15.5
理科の授業で学習したことは、将来社会に出た時に役立つと思いますか	44.1	54.3	○	10.2
将来理科や科学技術に、関係する職業に就きたいと思いますか。	21.5	22.9		1.4
理科の授業で、自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしていますか。	27.3	38.4	○	11.1
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。	31.4	83.9	○	52.5
観察や実験を行うことは好きですか。	72.1	80.1	◇	8
理科の授業で、自分の予想をもとに、観察や実験の計画を立てていますか。	30.8	55.0	○	24.2
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	40.1	67.2	○	27.1
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	41.9	55.0	○	13.1
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	94.2	92.0		2.2

○理科の授業で学習したことを普段の生活の中で、活用できないか考えますかという設問が、本校は 15.5 ポイント低い。このことから普段の授業と生活を連携させて指導できていないと考えられる。

○理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたかという設問が、本校は 52.5 ポイント低いことから、実験を行えている回数が全国に比べて低いことが考えられる。

○また、理科の授業で、自分の予想をもとに、観察や実験の計画を立てていますか、という設問が本校は 24.2 ポイント低い。このことから実験を生徒が主体的に進めることが出来ていないと考えられる。

○さらに理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますかという設問が 27.1 ポイント低いことから、実験結果を考察する能力も育てられていないと考えられる。

#### 【まとめ】

理科や実験を行うこと自体は好きな生徒が多い。また全国に比べて理科に関する学力は高い。しかし、実験に関する質問紙の項目が目立って低いことから、実験の充実が求められる。より実物に触れる実験の回数を多くしていき、学問としての理科と、実生活の理科を繋げて考えられる力を育てたい。



平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	①毎日の就寝時間が決まっているという生徒が全国平均を大きく下回っている。	①毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 < 66.3 / 75.2 >
	②毎日の起床時間が決まっているという生徒が全国平均を大きく下回っている。	②毎日、同じくらいの時刻に起きている。 < 86.1 / 92.1 >
	③普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、テレビやビデオ、DVDを長時間見ている生徒が全国平均を大きく上回っている。	③普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、テレビやビデオ、DVDを長時間見ている。 < 36.6 / 30.5 >
	④普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、テレビゲームを長時間している生徒が全国平均を大きく上回っている。	④普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、テレビゲームを長時間している。 < 27.3 / 20.5 >
	⑤普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを長時間利用している生徒が全国平均を大きく上回っている。	⑤普段(月曜日～金曜日)、1日あたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを長時間利用している。 < 28.5 / 18.2 >

<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>①学校の授業時間以外に、普段、1日当たり2時間以上勉強している生徒は、全国平均を大きく上回っている。</p> <p>②土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり3時間以上勉強している生徒は全国平均を大きく上回っている。</p> <p>③学習塾に通っていないという生徒は全国平均を大きく下回り、通塾率の高いことが見てとれる。</p> <p>④家で、学校の宿題をしている生徒が全国平均を大きく下回っている。</p> <p>⑤家で、学校の授業の予習・復習をしている生徒は全国平均より大きく下回っている。また、本校で予習をしている生徒は減少傾向にある。</p>	<p>①普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強している。  <u>&lt; 50.6 / 35.7 &gt;</u></p> <p>②土曜日や日曜日などの、学校が休みの日に、1日当たり3時間以上勉強している。  <u>&lt; 28.5 / 17.7 &gt;</u></p> <p>③学習塾（家庭教師を含む）で勉強している。  <u>&lt; 45.9 / 58.6 &gt;</u></p> <p>④家で学校の宿題をしている。  <u>&lt; 75.5 / 89.3 &gt;</u></p> <p>⑤家で学校の授業の予習をしている。  <u>&lt; 24.4 / 35.3 &gt;</u>  家で学校の授業の復習をしている。  <u>&lt; 34.9 / 52.0 &gt;</u></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>①友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意であると回答した生徒が全国平均に比べ、やや低い傾向にある。</p> <p>②学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級の決まりなどを決めていると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>③総合的な学習の授業で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役に立つと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p>	<p>①友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。  <u>&lt; 43.0 / 49.6 &gt;</u></p> <p>②学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級の決まりなどを決めていると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。  <u>&lt; 67.4 / 78.3 &gt;</u></p> <p>③総合的な学習の授業で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役に立つ。  <u>&lt; 63.9 / 74.6 &gt;</u></p>

<p>④ 1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられたと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑤ 1. 2年生のときに受けた授業では、生徒間で話し合う活動をよく行っていたと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑥ 1. 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑦ 1. 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑧ 1. 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと目標回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑨ 1. 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p>	<p>④ 1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられた。  <u>&lt; 73.8 / 85.9 &gt;</u></p> <p>⑤ 1. 2年生のときに受けた授業では、生徒間で話し合う活動をよく行っていた。  <u>&lt; 61.0 / 78.2 &gt;</u></p> <p>⑥ 1. 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。  <u>&lt; 50.6 / 65.7 &gt;</u></p> <p>⑦ 1. 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていた。  <u>&lt; 55.2 / 79.7 &gt;</u></p> <p>⑧ 1. 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた。  <u>&lt; 36.6 / 59.3 &gt;</u></p> <p>⑨ 1. 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。  <u>&lt; 41.8 / 73.7 &gt;</u></p>
---	---

	<p>⑩生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑪国語の授業の内容はよくわかると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑫数学の勉強が好きと回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑬数学の授業の内容がよくわかると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p> <p>⑭数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えると回答した生徒が全国平均に比べ大きく低い傾向にある。</p>	<p>⑩生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。  <u>&lt; 50.6 / 62.9 &gt;</u></p> <p>⑪国語の授業の内容はよくわかる。  <u>&lt; 62.3 / 74.3 &gt;</u></p> <p>⑫数学の勉強が好きである。  <u>&lt; 41.3 / 56.0 &gt;</u></p> <p>⑬数学の授業の内容がよくわかる。  <u>&lt; 58.7 / 71.6 &gt;</u></p> <p>⑭数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。  <u>&lt; 27.9 / 40.9 &gt;</u></p>
--	--	--

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

- (1) 少人数習熟度別指導  
国からの加配教員を活用し、1年生と3年生の英語科、1年生の数学科で少人数指導を実施、3年生は習熟度別指導を行っている。
- (2) 授業規律の確立  
授業のルールを設定し、全教職員で継続した指導を行う。
- (3) 補充学習、個別指導  
テスト前の放課後や夏期休業期間中などを活用し、補充学習や個別指導を行う。
- (4) 「朝の読書活動」の実施  
読書習慣の醸成と落ち着いた学習環境づくりのため、朝の10分間の読書活動を行う。
- (5) 朝学習  
授業開始前の朝の時間に、プリント学習を実施し、基礎の定着をはかる。(3年生のみ)
- (6) 校内授業研究  
先進校を視察し、校内研修で報告する。(班を活用した授業法等について)  
研究テーマに沿った授業研究を行い、教員の授業力向上をはかる。  
校区内小学校、幼稚園と連携した授業研究を行う。(校区小中学校合同研修等)
- (7) 家庭学習支援  
年度初めにシラバスを作成し、家庭学習の方法についてのアドバイスを記述、家庭訪問時に配付。

### ◎これからの取組み

※これまでの取り組みの継続のうに

- (1) 学力向上委員会を中心とした、授業改善  
学力向上委員会を中心に、授業研究を行い、授業改善を推進する。また、学力学習状況調査結果をふまえた授業改善をすすめる。
- (2) 授業規律の徹底  
授業のルールの徹底。安心して学べる環境をつくる。
- (3) 自学自習ができる生徒の育成  
家庭学習支援やノート指導等をとおして、自学自習できる生徒を育成する。
- (4) 読書好きな生徒の育成  
朝の読書活動を継続するとともに、図書館、図書委員会の活動をすすめる。